

最近の女性が結婚や子供を産むことを迷うのは、宇宙的スケールでコントロールされていると、僕は思いますね

横尾忠則

仕事を通じて他者からのコンタクトがあり、初めて自分の主体性を描く。自然の摂理に忠実に動いているんです

DG (一種密教的雰囲気がいっぱいの御自宅の一室にお邪魔して) まず驚かされますね。さすがはアーチストの部屋ですね。絵や置き物がところ狭しと……

横尾 そうですかね。絵にしても置き物にしても何となく集めている間に部屋一杯になったという感じで。涅槃のポーズをした森羅万象、すべての生き物の置き物は大好きで見つけるとすぐ手に入れてしまっんですよ。日本にはあまりなくたいいてい外国に旅行に行った時に見つかります。こういったものが約600体ぐらいい集まったので、近々一冊の本にしようという計画があります。

DG 外国にはしょっちゅうお出かけに

なるんですか？

横尾 そうですね、今もいくつかのプロジェクトで外国へ行く予定があるけれどこのところは国内に旅行することが多いかなあ。気分転換に出かけることも多いけれど、空気のいいところで人気がない場所、つまり非日常性を感じられるような所を選んでカンツメ状態になって仕事することもあつた……。地方の美術館でボクの展覧会が催されることも最近が多いですよ。例えば兵庫県立近代美術館や神奈川県立近代美術館で、ボクの絵画の回顧展をやりましたよ。172点ほどの作品が展示されたんです。それからシルクスクリーンで昨年の12月から3月までの間に作った30点ほどのポスター、吉祥招福繁盛ポスターっていうんですけど、これの展覧会なんかも行われて、そういう折に、オープニングのためにその土

地を訪れることになるわけです。

DG となると、旅をなさるのもお仕事で出かけることが多いのですね。

横尾 そうね。だいたいね、仕事自体、ボクの場合は99.999%他者からもたらされて、そして自分が動かされていく。行動というのは自分の主体性によるわけだけど、そのきっかけが仕事を通してこの他者からの求めに応じるということなんです。だからこそ、仕事がなくは僕自身もないと思うし、逆に自分自身が求めているというものは実は何もありません。じゃないかとさえ思っています。

DG なるほど。お仕事があつてこそ、つまり外からのコンタクトがあつてこそ横尾さんはイキイキしているという……。外から求められているからこそ、横尾さんのパワーも大きくなるというか……。

横尾 自然界というのはね、自分が主体